

# 萌 留 刊 日

2009年(平成21年)11月5日(木曜日)

## 余滴

増毛山道の復 山道と複雑に絡み合い、元作業が、有志 跡地がそっくり削り取ら  
の手で進められ れて急こう配の法面にな  
っている。正確に っている場所も数箇所あ  
る。閉鎖から半世紀以上  
山道跡をたどる が経過し、山道は姿を変  
えつつある。

増毛山道は増毛町別荘  
の津田屋から石狩市浜益  
の浜益神社を結ぶ三十八  
約四<sup>キ</sup>といわれ、道の左<sup>キ</sup>。今年の復元は津田屋  
右は私有林が入り込んで 位置まで進  
んでいる。間違つて林地の樹<sup>キ</sup>。武好駅通まではあ  
木を切らないようにする と約四<sup>キ</sup>ほど進まねばな  
ため、人工衛星の発する らないが、降雪期を迎え  
て 駅通まで  
電波を使っ  
て 緯度、経 山道跡 の伐採作業  
度を計測し は来年に持

道路周辺のササを刈り払 ち越された。  
枯れ草に埋まった山道  
う。大変な作業だ。

山道跡地にはいくつか 跡を下ると、別荘の海岸  
の遺物が点在している。 が眺められる場所があ  
る。江戸時代から明治、  
百年以上も前の明治時代 大正を経て、閉鎖される  
に設置された物や、山道 昭和二十年代まで、長い  
を閉じるに当たって切断 された電柱の跡などがあ  
り、歴史的に価値のあっ この絶景を見て歓声を上  
げた山道だったことを証明 げ、旅の疲れを癒したの  
している。 だろう。近い将来、大勢

ササを何度も刈り取っ の人々がこの跡地を訪  
た復元跡をたどると、いれ、歴史のロマンに触れ  
くつもの交差する道を確認 するに違いない。完成が待  
認できる。作業道などが ち遠く思う。